

# 腹腔鏡下で婦人科の手術を受けられる(妊婦)

患者用 クリニカルパス P 1 / 3




















(前日 6 日間入院)

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)
















様へ

月日	月 日	月 日	
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、不安が最小限となる		○異常な出血がない ○退院後の生活上の注意点 ○排ガス、排便がある ○創部痛(下腹部痛)が緩和し、苦痛が最小限となる
検査	・身長、体重測定		
食事	・夕食後絶食 ・21時以後の飲水は麻酔科の指示	 絶飲食	
	朝食は 自宅で  		
処置・観察	・リストバンドを装着します(退院日まで) ・弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします ・必要時、臍処置、除毛します	 午前中に内診があります  時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク ・心電図モニター ・点滴の管 ・尿道カテーテル
	 赤ちゃんの心音を観察します(妊娠16週以降)	→	
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	 指示により手術前に以下の点滴を行う場合があります ・持続点滴	 以下の点滴を行います ・抗菌薬 ・持続点滴  病状に応じて子宮収縮予防の点滴または注射を行います
	行動・リハビリ	 シャワー浴 洗髪をします 	 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し
説明	 医師・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について		 医師より ・手術結果について
	 病棟・手術室看護師より ・入院生活について(患者用パス使用) ・手術について ・持参物確認(テープ式オムツ・ナプキン)  薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について ※マニキュアをとり、爪は短く切ってください 指輪も外してください		 看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日
経過	術後 1 日目		術後 2～3 日目
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○異常な出血がない</li> <li>○排ガス、排便がある</li> <li>○創部痛（下腹部痛）が緩和し、苦痛が最小限となる</li> </ul>		○退院後の生活上の注意点が理解できる
検査	  <ul style="list-style-type: none"> <li>・採血</li> <li>・採尿</li> </ul>		
食事	昼より全粥食開始		朝より常食
		 	  
処置・観察	以下の挿入物を取り外します <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素マスク</li> <li>・心電図モニター</li> <li>・点滴の管（点滴終了後）</li> <li>・尿道カテーテル</li> </ul>		
	 創部を観察、必要時処置を行います <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんの心音を観察します（妊娠16週以降）</li> </ul>		
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服	 以下の点滴を行います <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続点滴</li> </ul>		
	 病状に応じて子宮収縮予防の または注射を行います		
行動	 午前中 全身清拭し手術着からパジャマ に着替えます		
	 医師の許可で座位になれます   午前より歩行を開始します	 制限ありません	 朝食後退院です
説明	 医師より <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の治療計画、療養上の留意点について</li> </ul>		
	 看護師より <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の療養生活について（退院療養計画をお渡しします）</li> </ul>		

## 手術後の傷の痛みを教えてください

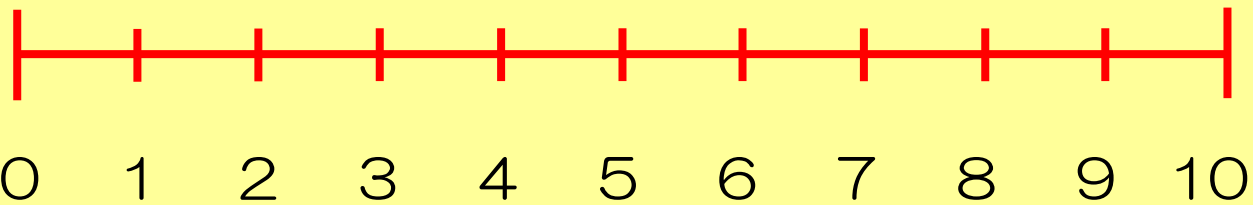
講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。



手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合  
今の痛みはどのあたりですか



痛みがない

中等度の痛み

最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。

